

十二月十八日付
二月十八日付
お便り有難う感じました
新年のごあいさつもせず
に

二月十日に参りました
日本日暖い正月でしたが
二月の終り頃吹から

急に寒くなりカゼ流行して
学校の休たれ出ました
二月一日の雪で

カゼの流行も止り
暦の立春コヨミから春コトが近づいて来ました
近頃の山

の雪が消えし
梅のつぼみが
おくらみ
早い木は咲き出し
ています

暖い春の来るのは
嬉しい事です

先便にお知らせした通り
去年の弟妹が大勢
大病いたしました
が

幸に比留な
恢復して
新年を迎える事が出来ました
然し老人

は病つらいより
病気が可なり
なれど
今後の注意が必要
と思っております

今年も春も日本に
来うねとのこと
山形にお心づき
目をよろえんじ

待つております
都合が悪い日は
ありません
いつか
終つて
います



妹達にし話しておる 石和ん会食と一齋してお話し夜りと考え
らおうとす

天野知事がアメリカの比留さんにはメッセージを送つたとか どちらの新聞

にしあつたとか 甲府におこ 栗平の知事に 会つたのちい、おすね

天野知事は「栗民のほみ良い栗をつくる」事を目ざしています 去年の

暮 朝日新聞社で全国の調査をしたと 信み良い栗は日本中へ
山梨が 一為ぐ 千栗が

一栗園いりおつたとか 信み良いとか 生活が豊かとか 基準 1日

いりく、おしやうが 交通の便、物価の安、気候風景がよい

地酒、住宅が安、就職しやすい、教育がしやすい、等いろいろの理由が

か 山梨栗日よろこび 千栗栗日はおこつていた 採りしと

山梨栗日戦後 栗樹王国と云われ、砵の生産が日本一と農家は

が収入が多かつたが、ここ十五年位は果樹経営の発展がとまり

農村にも若い人は会社や商店に勤めに出て農業の老人が

働いてゐる様になりしと、日本が工業国になり農業は若い人

に働く魅力の無くなつてゐる

とにかく健康が大事と考へ、朝夕遊人を距りあししり、剣道の

素振り（木刀を打込む動作）をしりしりあり

春の桜の花の咲く頃、山梨にお泊しし、續々話の出来事の日々

待つてゐます

の自叙の目と新りきり、皆さまにまゝく、五

二月より午後五時

野澤正巳

高橋友枝 採





VIA AIR MAIL

北米合衆国
サンフランシスコ市
高橋友枝様

Mrs. T. Takahashi
200 Rhode Island St.
San Francisco Cal.
U.S.A.

RECEIVED
FEB 10 1992
AMS.D.....

